



楽しく取り組むことの大切さ

梅雨に入り連日蒸し暑かったり、雨が降ったり、子供たちにとっては体調管理が難しい時期になりました。それでも日々子供たちは外で遊んだり、体育の時間に体を動かしたりしながら、自分の身体と向き合う時間を大切にしています。

1学期も残り1か月を切りました。1学期を振り返り子供たちの様子はいかがだったでしょうか？できるようになったこと、頑張ったこと、一人一人が大きく確実に力をつけ、成長してきたように感じます。1学期は年度の初めの学期でもあり、学校生活に勢いをつける時となります。「もう1か月しかない」と考えるのではなく「まだ1か月もある」と考えると、まだまだ出来ることはたくさんあります。楽しい夏休みに向け、少しでも多くの経験と、達成感を味わってほしいですね。

さて、今年オリンピックイヤーですね。早い競技では7月24日から競技が始まりますが、開会式は26日となっています。スポーツの祭典と言われ、多くの競技に各国の代表選手が集まり、技を競います。楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか？私も今年の夏はオリンピックを楽しみにしています。各競技の日本代表にも期待が集まっています。山梨県からも卓球の平野選手、レスリングの文田選手、柔道の船久保選手、県内出身ではありませんが山梨県関係の競泳の鈴木選手。4選手すべてにメダルが期待されています。しかし、なんとなく日本人は、オリンピック＝メダルみたいな期待感がすごく強いように感じます。もちろん、期待は大きくてもいいと思いますが、出場するだけでも十分な力を持っていることを、つつい忘れがちになっているように思います。出場する選手はメダルをめざし、国民の期待を力に変えて戦う姿を、私たちも応援したいと思います。私は何人かのオリンピックや全日本代表と話す機会がありましたが、その選手たちに共通していることは、競技に熱中していたけど楽しんでいました。もちろんつらい時もあったそうですが、競技生活全体を通して楽しみながら取り組むことで、自分の力を高めることができたそうです。やはり「楽しむ」ことは何事に対しても大切な要素となっています。大明小学校の子供たち一人一人も、学校生活を楽しみ自分の力を高められるようになってほしいと願っています。もちろん、学校は全力を挙げて子どもたちを支え、よりよい成長につながるようにしていきます。御家庭でも子供たちの「良さ」「頑張り」を励まし支えてほしいと思います。よろしくお祈りします。(大明小出身のオリンピック「陸上400mH 2016年リオオリンピック」に出場した、野澤啓佑選手も忘れることのできない選手ですね)

【お願い】新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、様々なことが緩和され、制限の少ない生活に戻ってきています。しかし、子供たちのマスクへの依存は強く、「感染症予防」ではなく「心情面」でのマスク依存に変化してきています。特に夏場を迎えるこれからの季節、学校としては「外で活動するとき」「体育の時」は完全にマスクを外す指導を行っていきます。マスクの継続した着用は身体的、精神的にも子供たちにとって大きな障害となります。子供たちのより良い心身の発達を願い、これからはマスクを外すことが当たり前となる指導を継続して行っていきます。御理解と御協力をお願いします。素顔のままの子供たちの素敵な笑顔を大切にしていきたいと思っています。